

## 矯正歯科治療の流れ

### 矯正相談

お口の状態をチェックします。矯正の必要性、開始時期、大まかな期間、費用、装置や治療方法について説明があります。

### 経過観察

### 検 査

口腔内写真・歯型・エックス線写真を撮ります。

### 診 断（治療方針の決定）

治療方針のご提案を行います。患者さんと相談の上、治療方針を決定します。むし歯や歯周病の治療が必要な場合があります。歯並び、噛み合わせによっては、矯正治療に先立って歯を抜く必要がある場合があります。

### 動的治療（混合歯列期の治療）

乳歯から永久歯に生え変わる間の矯正治療です。矯正装置をつけて歯の移動を開始します。患者さんのお口の状態や治療方針によって、混合歯列期の治療で終了するケースと永久歯列期の治療へ移行する場合があります。

### 動的治療（永久歯列期の治療）

矯正装置をつけて歯の移動を行います。患者さんのお口の状態や治療方針によって、歯の移動に要する期間は異なります。

### 保定的治療

歯の移動が終わりましたら、歯並びが安定するように保定装置をつけ、メンテナンスしていきます。

### 予後観察

### 終 了

（2025年6月）

# 矯正歯科治療



## 東京都立心身障害者口腔保健センター

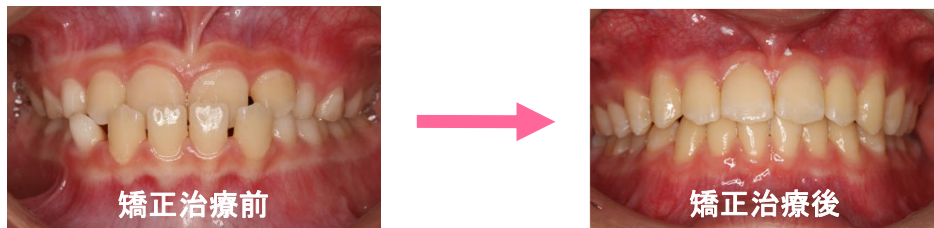
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1  
セントラルプラザ事務棟8・9階  
TEL 03-3267-6480（診療予約）  
FAX 03-3269-1213  
URL <https://tokyo-ohc.org/>

## 矯正歯科治療とは

でこぼこの歯並びやアンバランスな噛み合わせを、矯正装置を通じて、歯やアゴの骨に力をかけてゆっくりと動かし、きちんと噛み合うようにして、きれいな歯並びに治す歯科治療です。

歯並びを治すことは、見た目がきれいになる・噛みやすくなる・歯磨きしやすくなるなどメリットがありますが、治療期間が長く、装置による負担もあります。

矯正専門医とよく相談してから治療を始めましょう。



【受け口(反対咬合)】

## 矯正装置

矯正装置には、たくさんの種類があります。一般的には、歯の表面に金属やプラスチックの小さな装置(ブラケット)をつけ、それに細いワイヤーを通して歯を動かす固定式の装置を使います。

取り外し式装置を使う方法やヘッドギアなど口の外で使う装置もあります。



## 障害のある方の矯正歯科治療

※厚生労働省が定める疾患のある方は、健康保険が適用となります。

【厚生労働省が定める疾患の一部抜粋】

ダウン症候群・チャージ症候群・歌舞伎症候群・ヌーナン症候群・先天性ミオパチーなど顎口腔の奇形、変形を伴う先天性疾患に起因する咬合異常

### ✿お試し矯正✿

矯正治療にあたっては、ある程度診療への協力性が得られる患者さんが対象となります。「矯正装置を付けていられるか不安」という方は、一定期間お試しで矯正装置を付けてから矯正治療を開始するか決める事ができます。お気軽にお問い合わせください。(別途費用がかかります)

## 矯正治療 Q&A

### Q1 いつ矯正治療を始めた方がいいの？

センターでは、永久歯の前歯が上下4本ずつと、6歳臼歯が生えそろったとき(およそ7歳頃～)を矯正相談時期の目安としています。永久歯列になっても矯正治療は可能ですが、治療方針や治療方法が変わることがあります。

### Q2 治療期間はどれくらいかかるの？来院頻度は？

年齢や歯並び・噛み合わせの状態などにより異なります。歯を動かす「動的治療」は、混合歯列期は4～5年、永久歯列期は2～3年くらいかかります。月に1回くらいの通院です。

### Q3 治療は痛いのか？

個人差がありますが、装置を初めて入れたときや、装置を調整したあと数日は、歯が浮いたような違和感や、食べ物を噛んだときに痛みを感じる場合があります。

### Q4 歯は抜かないといけないのか？

歯を並べるためにはスペースが必要です。矯正医がエックス線写真や歯型模型などを使って総合的に判断します。歯を抜かずにできることもありますし、抜くこともあります。

### Q5 装置をつけているとむし歯になりやすいのか？

矯正装置がつくと、食べかすや歯垢がたまりやすくなるため、むし歯や歯周病になりやすいです。歯科医師・歯科衛生士の清掃指導、食習慣指導をしっかり受けて予防することが大変重要です。

### Q6 費用はどれくらいかかるのか？

相談料(初回)	3,000円	検査料	45,000円
相談料(2回目～)	2,500円	お試し矯正(毎回)	3,000円

	自費(支払いは分割)
混合歯列期	400,000円
永久歯列期	700,000～800,000円

※保険適用の場合は患者さんごとに支払額が異なります。